

平成29年9月23日(土)実施



発行：都市整備部 まちなか再生推進課 本庁舎建設係

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

9月23日(土)の午後、宇部市立図書館にて、第12回「宇部市新庁舎建設ワークショップ」を開催しました。27名の市民にご参加いただき、5つのグループに分かれて、これまでの意見を基にまとめたワークショップ変更案に対する期待と検討すべき点を出し合い、全体で議論しました。

最初に前回のおさらいをした後、設計者よりこれまでの意見を踏まえて作成したワークショップ変更案について説明しました(p2~4)。その提案を聞き、グループごとに期待する点、検討すべき点を出し合い、全体の場で確認して意見交換をしました(p5~8)。その後設計者、宇部市、ワークショップ支援グループから、ワークショップの成果と検討課題についてコメントしました(p9)。最後に本日の感想をカードに記入していただいて(p9~10)、第12回のワークショップを終了しました。

ワークショップ案に対する話し合いとしては最終回となりましたが、より具体的な議論を深めることができましたと思います。感想カードの中にも、計画案が次第によくなってくるのがわかるという意見がいくつかありました。

これまで4回のワークショップの意見を反映したワークショップ最終案の報告会を10月28日に開催します。提案のさらなる成長プロセスを確認していただければと思います。これからこの“器”にいかに命を吹き込むかが課題である、ということと、今回のワークショップの最後に参加者みんなで共有したことを報告いたします。

ワークショップの流れ

■第9回

日時：平成29年5月20日(土)14:00～

場所：ハミングロード新天町アーケード内

■第10回

日時：平成29年7月15日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館

■第11回

日時：平成29年8月5日(土)13:30～

場所：ときわ湖水ホール

■第12回

日時：平成29年9月23日(土)13:30～

場所：宇部市立図書館

■報告会

日時：平成29年10月28日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館

第12回プログラム

1. はじめに
2. 第11回ワークショップの振り返り
3. ワークショップ変更案の説明
4. ワークショップ変更案に対する期待と検討すべき点をグループで検討
5. ワークショップ修正案に対する期待と検討すべき点を発表し、全体で話し合い
6. 成果と今後の検討課題を確認
7. まとめ

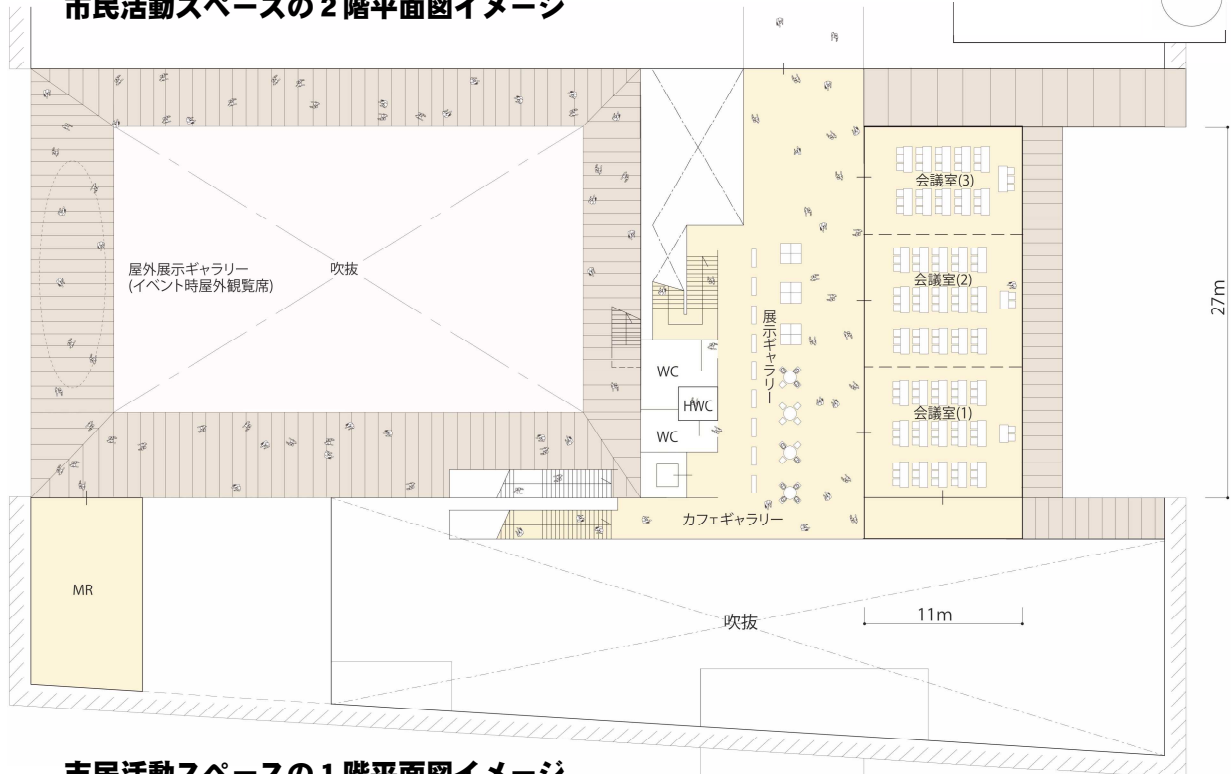


ワークショップ変更案を説明しました

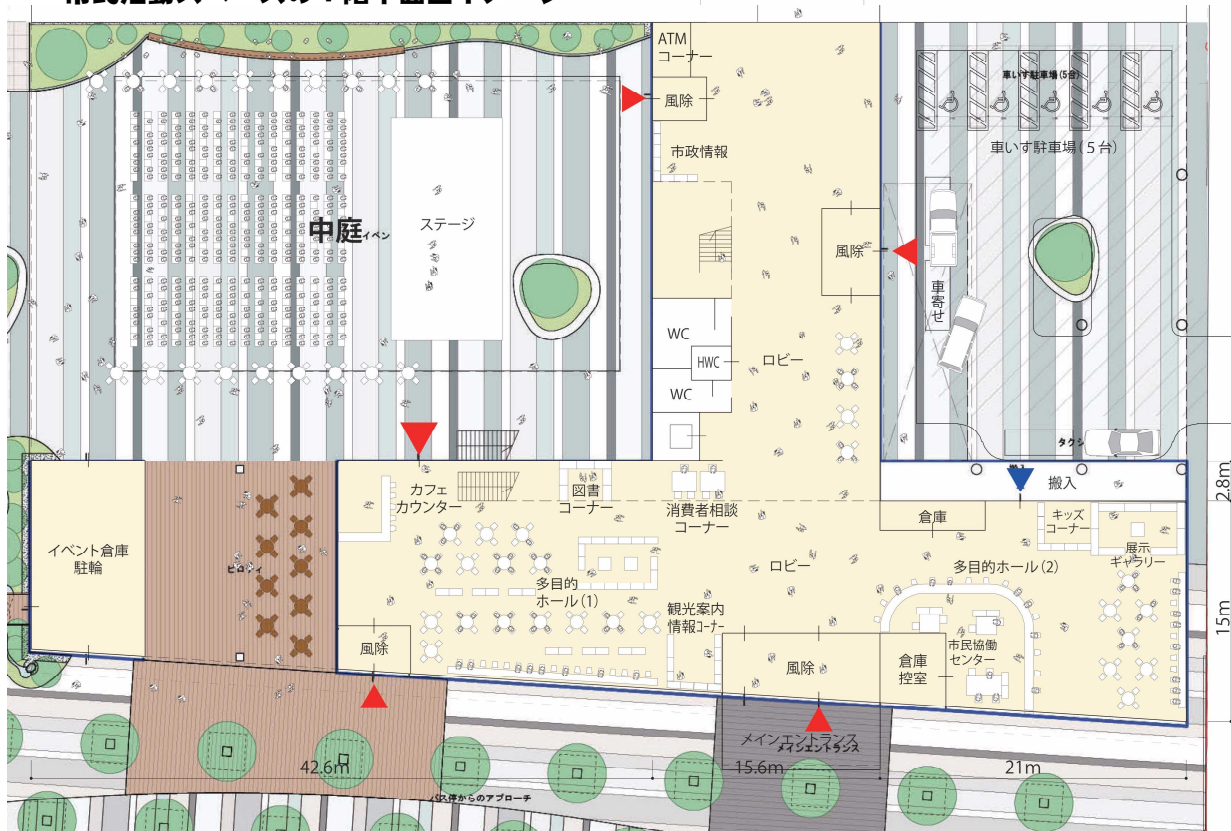
これまで3回行ったワークショップまとめをもとに作成した、宇部らしい市民活動支援機能と、広場などまちづくり拠点機能について、ワークショップ変更案を設計者から説明しました。

ワークショップ変更案

市民活動スペースの2階平面図イメージ



市民活動スペースの1階平面図イメージ



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

＜これまでのワークショップの大きな傾向＞

市民活動交流コーナー

- ・ある程度の広さが必要
- ・複数の機能を兼ねた場づくりを望む意見が多い（各機能が相互連携しやすい配置として第11回にワンルームラウンジ型配置を提案）

多目的ホール

- ・対極する意見あり
 - (1) きちんとしたホールが欲しい
 - (2) ヒストリア等、他のホールがあるため無駄

＜方向性＞

- 市民活動交流コーナーは、多くの市民が気軽に利用できる場とする。
（予約なしで利用できる打ち合わせスペースや、掲示スペース等を設ける）
- 市民活動交流コーナー全体を多目的ホールとして位置付ける。
（設備を備えた区切られたホールは設けない。より本格的なホールが必要な方には、用途に応じた市内ホールの紹介・予約ができるようにする）

● 多目的ホール：みんなで使うまちなかの大きなロビー

- ・みんなで使うまちなかのロビー空間として、講演会、展示会、発表会など、イベントごとにいろいろ変えられる場所として提案。
- ・最低限の設備を工夫して設えていきたい。
- ・「体育館のようなスペースに」という意見があったが、体育以外の活動が難しいため採用は難しい。
- ・ヒストリア宇部が『市民の部屋』という位置付けに対して、『市民のロビー』として機能的にはっきり分け、相互の共存を図る。

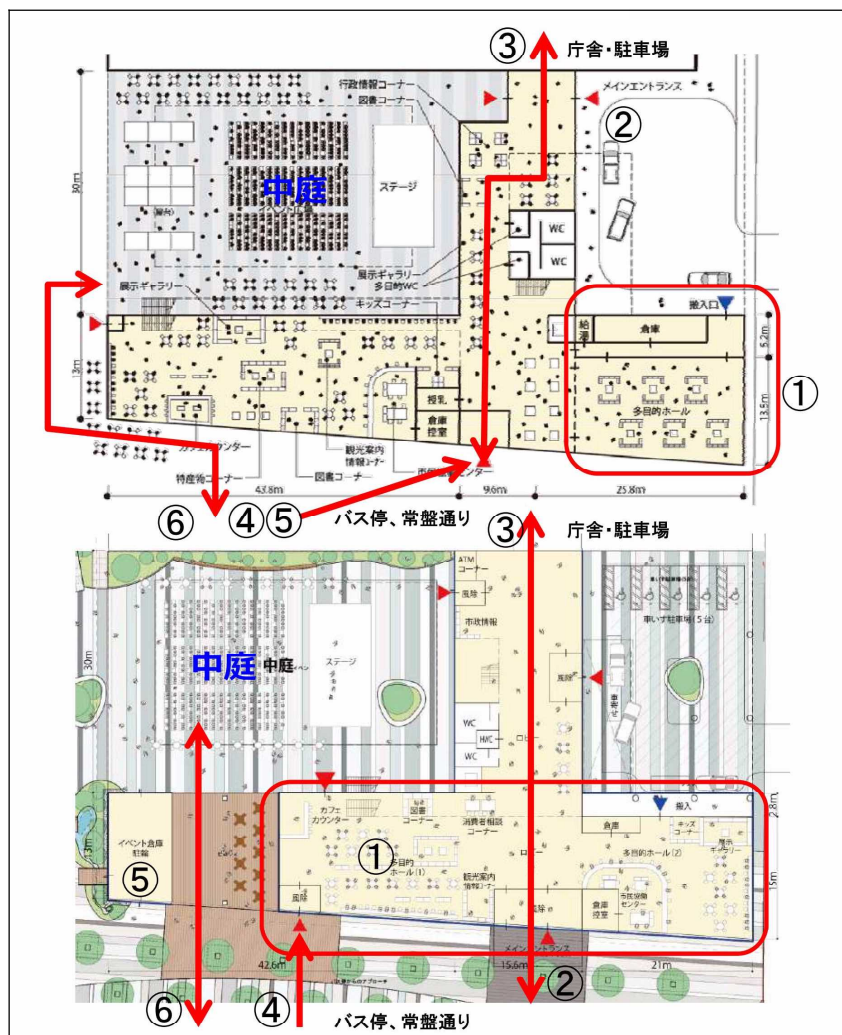
● 市民活動支援機能：整理した6つのポイント

■ 第11回ワークショップの指摘

- ①多目的ホールのあり方
- ②エントランスが分かりづらい
- ③立体駐車場から遠い
- ④常盤通り側に駐輪場
- ⑤バス停からのアプローチに配慮する
- ⑥常盤通りからイベントが見えない

■ 変更検討案

- ①ヒストリアと差別化、市民活動支援全体を多目的ホールとする
- ②常盤通りに面する位置にエントランスを大きく配置
- ③ロビーを広く見通しを良くし、機能を持たせることで自然に来庁者を誘導する
- ④⑤バス停正面に出入口、駐輪場
- ⑥ピロティを介して常盤通りからイベントが見える配置



ワークショップ変更案



※話し合いのたたき台として設計者から提案されたもので、これが基本設計となるものではありません。

● 広場（まちづくり拠点機能）：整理した5つのポイント

- ①立体駐車場不足時の臨時駐車場について
(美観を損ねない)
- ②イベント広場の位置について
(中庭か真締川沿いか)
- ③親水池とデッキのあり方について
(イベント時に広場が分断されない、
イベントの邪魔にならない)
- ④真締川沿いの整備について
(桜を活かす、産業祈念像は残したい)
- ⑤中庭や広場に彫刻を置く(まちなか美術館)

- ①広場としての設えを保ちつつ舗装の積載荷
重への配慮など、駐車可能な計画とする。
- ②多目的広場や中庭のどちらでもイベントが
可能な計画とする。またイベント時の搬入
車輛動線、耐荷重に配慮した設えとする。
- ③中庭と多目的広場の連携に配慮し、結節
点となる憩いの広場の親水空間はイベント利
用時に邪魔にならない設えとする。
- ④⑤桜は活用し、彫刻はストーリー性に考慮
して配置を検討する。

● 各エリアの設え

【多目的広場】

- ・ワールドキッチンのテントが張れる広さ

【真締川公園】

- ・中低木が育ち見通しが悪いので整理をして、緑を残しながら安全な公園とする。
- ・市道は廃止し、広場と一体的に整備する。

【広場の舗装】

- ・イベントや災害時に大型車の乗り入れできる仕様。

【憩いの場】

- ・夏場には、噴水装置で噴水やミストを出す。
- ・芝生の小山はイベント時の休憩コーナーや小イベントの開催場所として活用。

【中庭】

- ・イベントがない時には静かな憩いの空間として使える。
- ・500～600人が入れるスペース。ステージやイスを配置してイベントができる。

ワークショップ変更案に対する期待できる点と 検討すべき点をグループで検討しました

ワークショップ変更案について、期待できる点と検討すべき点を話し合い、3つにまとめました。
結果を発表し、全体の場で意見交換をしました。

<1 グループ>

期待する点

- 例えば週替わりで市の部署の働く場を市民協働スペースに設けてはどうか(お仕事見学、PR)。
- 人(常駐)
- 他市にない市民活動スペースや中庭、広場に期待する。

検討すべき点

- 管理する人、出演者などの控え室が必要。
- 若者が集まることができるスペース
- 庁舎に来た人たちが市民活動スペースを使える仕組みづくり(住民票などの待ち番号表示)

<2 グループ>

期待する点

- ピロティがあるのが良い。
- 二階の屋根はデザイン&管理を西高校にお願いする。
木はアーモンドは如何でしょうか？
- イベント広場の屋根は良い。

検討すべき点

- 多目的ホール(2)の2FはLaboスペースを作れるようにしてほしい(現在は吹抜)。
- バス停から入口まで屋根をつけてほしい。
- 多目的ホールは無料で使えるようにしてほしい。

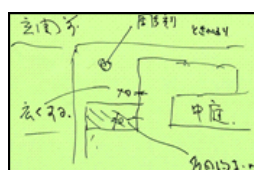
<3 グループ>

期待する点

- 全天候型の広場[中庭]。屋上の有効活動。
- 広場の有効的活動
- 多目的ホールを使用して、医大の先生の講演や活動

検討すべき点

- 中庭は歩いてみたくなる様に、又、建物内からの眺望を考えて、室内に人を留めてお茶でも飲める様にしたいは如何ですか！
- 吹き抜けは必要か？
- 駐車場が狭すぎる(高低差を利用するべきでは？)
- 車寄せと多目的ホールを入れ替えて、過度をオープンスペースにしてシンボルとなる彫刻を置く。



<4 グループ>

期待する点

- 真綿川沿いの樹木の整備とデッキの設置の実現
- 彫刻の置き場所のストーリー性のある再配置には期待する。
- メインエントランスを正面に配置し、庁舎棟への動線が一直線となり、全体的にすっきりして良くなった。

検討すべき点

- 消費者相談コーナーはプライバシーの事を考えると、この場所は不向きだと思う。
- 多目的ホールについては検討が必要だと思う。
- 物産コーナーとその運営方法。
- 真綿川の公園にトイレ、手洗い場がほしい(特にイベントがある時)。
- 中庭風除室と、車寄せ風除室の位置を合わせたいと思う。なぜなら位置が合う方が動線がわかりやすくなりすっきりとなる。



期待する点

<5グループ>

- ピロティとカフェをつないでほしい。
カフェは小野茶カフェ。
- カフェでデスクワークが行える。
- 市外、県外、海外の人に宇部を知ってもら
う（英語、中国語）。

検討すべき点

- 真締川公園と周辺公園をつなぐ散歩コー
ス、ジョギングコース等の出発点に！
- バスが入れるロータリー（コミュニティ
バス）
- 常時イベントをして人を集める。



▲ 1 グループ



▲ 2 グループ



▲ 3 グループ



▲ 4 グループ

その他、市民協働スペースについて出されたポイント

レイアウトや各部屋について

- ・コピー機〔市民が使う〕を置く場所を確保。
- ・会議室は4～6人の小部屋にも仕切れると、市民の相談コーナーにも使用できる。
- ・イベント等の招待者の控室が必要。
- ・管理する人の控室も必要。
- ・山車を置くスペースが欲しい。
- ・Laboを！パーティションで形を変えることができる。ガス、給排水をプラグで接続できる実験台を設ける。実験台は移動できる。パーティションはガラス仕切りで！
- ・宇部発新商品開発ラボの意味合いも含めてもらうとより良いと思います。
- ・市の職員（市民活動課）の配置を考えてほしい。
- ・他施設にある機能（会議室、ホール等）は要るか？
- ・手作りの作品や宇部の特産品展示スペースと販売のコーナーは？
- ・物産販売、展示コーナーはあった方がいいかも。
- ・勉強できるスペースがほしい。
- ・スタバ以外でも良いので楽しいものを。
- ・おちゃカフェ
- ・リアルな場としての情報総合案内所（ネット上にはすでにある。リアルな場としての）。
- ・市民活動スペースの案内コーナーは必要ではないか？
- ・役所の受付番号などが分かるディスプレイなどを設置する。キッズコーナーを利用する方への配慮。
- ・消費者相談コーナーは適さない。
- ・消費者相談コーナーとキッズスペースを入れ替えでは？

- ・多目的ホール(2)を庁舎と隣接して配置
- ・多目的ホール(2)の倉庫の位置と、展示ギャラリーの位置を変えたほうがいい。
- ・多目的ホールが部屋形式でなくスペース全体で使えるのはよい。
- ・吹き抜けは必要？
- ・吹き抜けスペースが広い。省エネ。2階にもっと部屋を作れる。

ピロティ

- ・ピロティはあった方がよい！
- ・ピロティがあるのは良い。
- ・模型を見る限り、ピロティがあっても常盤通りからイベントは見えないと思う。

出入口周りや看板について

- ・メインエントランスを正面に持ってきたのはよかった。
- ・メインエントランス風除室から庁舎入口が一直線になる様に。
- ・中庭風除室と車寄せ風除室の位置を合わせたいと思う。
- ・ピロティ側にも出入り口
- ・車寄せがこの位置だとデッドスペース
- ・バスのロータリー
- ・ミニバスを利用すればロータリーでもOK。
- ・屋上に「宇部市役所」の表示を。
- ・遠くから見てもわかるように宇部市の表示をしてもらいたい（表札）。

トイレ

- ・広場から使いやすい位置にトイレ
- ・イベントに人が集まるようになればトイレが少ない。
- ・トイレの数の確認が必要。

運営について

- ・市民活動スペースがしっかり運営できるようなソフトを期待する。
- ・コミュニティスペースの運営管理は？どこが行う？市の内規などにあまり縛られると、運営しづらくなるのでは？
- ・多目的ホールは市民開放で、無料で使えるようにしてほしい。
- ・市民協働センターの組織（ソフト）の充実が必要。
- ・多目的ホールの内容の検討がいる。
- ・多目的ホールが無料であれば、他施設の会議室の利用率は低下するかもしれない。
- ・常にイベントをやっていると。

その他

- ・宇部の事を知ってもらう（学生、県外が多い）。
- ・イベントが増えると思う（期待する）。
- ・医学部の先生などが講演できる場や活動
- ・全体的にすっきりしてよくなった。
- ・常盤通りからの動線は良くなった。
- ・光熱費がかからないように。
- ・雰囲気作りが大切！
- ・徳山駅のイメージ
- ・ガラス貼が良い



▲ 5 グループ



◀ 模型を使った説明

その他、広場（まちづくり拠点機能）について出されたポストイット

真締川沿いの整備について

- ・真締川沿いのお散歩コース
- ・真締川公園と他の公園、緑道のつながり
- ・真締川へのデッキは実現を期待します。
- ・真締川の樹木を整備するというのには賛成
- ・真締川の公園にトイレ、手洗い場が欲しい。
- ・市庁舎周りの植木は真締川沿いの木を利用して、真締川全体をすっきりさせてほしい。
- ・歩道に植樹する場合、見通しのよさと路面の不陸が生じないように留意した施工が必要（根が伸びてガタガタになる）。できれば整然と直線的に植えるようにした方がよい。
- ・産業の像を高くしてほしい。目立つように。
- ・彫刻の置き場所のストーリー性のある再配置には期待する。
- ・彫刻など、以前あったものを移転する場合は移転の履歴をとっておく（最初、どこにあったのか分かるように）。

イベントについて

- ・中庭がイベント会場として重要になった。屋根はありがたいが、下は芝生か？
- ・中庭で月1回くらいフリーマーケット
- ・広場で学生の発表会などするとよいのでは？
- ・若い人が集まる工夫をすること！
- ・学園祭を広場でやると良い。
- ・海外とのイベント

多目的広場、憩いの広場について

- ・ジョギング、ランニング、散歩の拠点となる広場
- ・多目的広場にある芝生の山の高さを考えてほしい。
- ・小山が邪魔。再検討要。
- ・多目的広場はムダ
- ・何も無い広い広場がほしい。
- ・ミストは間欠で出る。
- ・親水公園はミストとLED（下から）

駐車場について

- ・多目的広場が臨時駐車場になるのはどういうケースか？
- ・臨時駐車場の出入り口を複数確保しないといけないのでは？
- ・駐車場が狭すぎる。
- ・駐車場と庁舎の高低差を駐車場として利用すべきでは。
- ・駐車台数が少ないのでは？

その他

- ・バス停からの屋根を設ける（入口まで）
- ・民地との騒音と日照、防犯の問題
- ・廃道化し公園にした後の自転車の通行を保証して欲しい（市公園緑地化は園内を自転車に乗って通ることを認めていない）。



発表を聞いた後、全体場で議論しました

参加者1：具体的な使い勝手を考えるところで、ちょっと難しいかもしれないが、みんなでシミュレーションをして「良いよね」と確認できる場があると良い。市民活動の場やカフェなどでも同じ。

参加者2：店や展示に関する細かなネタを持っている方は市内にたくさんいるのに、なかなか出てこれないのはほとんどがボランティアで、収益に絡むところが自腹状態になっているから。補助を厚くすると集まりすぎて先着順になったり、補助がなければせっかく作ったのに人が集まらないということになると思う。最初は光熱費を補助するなど公費で補助を付けて、それから徐々に羽ばたいていただく仕組みにしていきたい。

ワークショップ支援グループ 内田氏：市民が利用する市民活動支援機能のスペースをどうつくるか、ある程度の道筋をつけていくのがこのワークショップのミッションである。ハードに関しては、実施設計で使い方をシミュレーションしていく中でクリアできる話だと思う。ソフトに関しては、最終的に誰がどう使うのかを決める道筋をどうやってつけていくのが重要な話で、それには基本設計、実施設計と並行しながらやっていくやり方がある程度、決めておく必要があるのではないかな。市の意向もあると思うが、実際に使う団体や使い方をどうやって決めて行くのかという議論ができると良いと思う。

設計者 飛永氏：ハード的な内容は設計の中で詰めて行けば、ある程度結論が出ると思う。駐車場の台数や規模については市の施策の中で最終的には決定する。交通量調査をした結果から、3～4月の庁舎の車の利用が一番多い時期に利便性に支障が出ない駐車台数を導き出している。それが230台。多目的スペースや市民協働スペースにどのぐらいの人が来るかは未知数だが、臨時駐車場や周辺の駐車場の活用を含めれば、ある程度クリアすると思っている。車社会であることは確かだが、将来はどうなるか。他都市では車に乗れない方が増え、福祉タクシーや巡回バスを利用する動きが起こっている中でこれからの車社会を考えていかなくてはいけないと思う。

内田氏：設備設計ははどういう手順で決めるのか。

飛永氏：通常、実施設計の段階でコンセントや給排水の位置を入れたプロット図を利用する人に確認してもらおう。建物を作る段階で施工図を描き、その時に最終確認をってもらう場をもう一回作り、そこで設備的なものを確認していただく。

内田氏：設計と並行して、誰がどう使うのかをどうやって決めるのか。実際の設計、施工の流れに上手く乗るように進めていくことが必要だと思うので、ここを具体的に使ってみようという団体に手を挙げていただきたい。

飛永氏：市の考えもあるが、次の段階は「人」。たくさん、いろんな活動をされている方にヒアリングしながら、実際の運営方法について詰めて行くことだと思う。

内田氏：常盤通り沿いのガラス張りのところに市民活動センターが出来る絵になっている。これが出来ると思うので、皆さんで力を合わせてやっていけたら良いと思う。

参加者3：駐車場が非常に狭いと思う。今の庁舎にはない市民活動スペースが出来れば、そこにたくさんの人を集めないとイケない。そうしたら駐車スペースは絶対に足りない。20～30年先には歩けない人が増えるかもしれない、人口が減るかもしれないがそんな先の事を考えても仕方ない。他を削ってでも駐車場を増やすべきである。

飛永氏：駐車場についてはもう一度、市の方に確認し検討する。

参加者4：多目的ホールも1階のスペースも、やはり統一感がないとおかしいし使い方もいろいろあるので、プロデュースする人間が絶対に必要だと思う。そうでないとちぐはぐな、ちんどん屋のようなになるので、専任でそういう人を雇っていただかないといけないと思う。

ファシリテーター 伊藤氏：とある市庁舎を作るときにワークショップをやり、市民協働スペースをどうするかという話し合いをしたが、そこに市民活動している人が集まらなかった。出来たものを見に行くところがら一んとしていて、空間は出来ているが活発に使われていないという現実があった。そこを運営するプロデューサー的人材を、皆さんで発掘し、「この人なら絶対に大丈夫だ」という人を市の方に伝えていくぐらいのことをしないと、待っていてもそういう人は出てこない。そういうことはとても重要なことだが具体的に実現させるのは難しいので、今回、このワークショップに1回でも来た方は、そういうことを話し合いながら、庁舎が出来るまでの間に、是非頑張っていたいただきたいと思う。



ワークショップの成果と今後の検討課題の確認

設計者、宇部市、ワークショップ支援グループから、これまでのワークショップを振り返り、感想と今後の検討課題をまとめました。



設計者からのコメント

細かい点から総論まで多数のご意見をいただいた。地元の生の声を聞き計画に反映し意見をいただくという繰り返しをさせていたでいて、非常にありがたいと思っている。検討課題は多々あるが、この4回でハード面のコンセンサスは見えてきたと感じている。具体的にどう切り盛りしていくかが一番のハードルだと思うので、市内で活躍されている方や内田先生も含めて、皆さんで意見を集めて、宇部独自の空間を作っていくかといけないう。その素地はここにはあると思うので、それを期待しながら良いものをつくっていききたい。



佐藤 総合計画
飛永氏



宇部市からのコメント

目指しているのは防災拠点・執務としての庁舎、そして市民の皆さんに使っていただく庁舎である。他都市にはない市民活動スペースを皆さんと考えていこうとワークショップを開催した。実際に使われないと意味がないので、どのような運営をしていくか、どう使っていくか、どう使えば人が集まるのかということこれから考えていきたい。今後も皆さんの意見を聞く場を作っていこうと思うので、ご協力をよろしくお願いしたい。

この市民ワークショップでいただいた案をまとめて11月までに庁舎の素案をつくり、12月には素案に対する意見募集も行っていきたい。今、どこまで進んでいるのかについては、工事期間中も含め、ワークショップニュースに代わるものを定期的に発行して伝えていくことを考えている。



ワークショップ支援グループからのコメント

市民ワークショップの市民案から発展し、やっとここまで来た。市民活動センターのようなものが出来て、いろんな人が出入りしている姿が常盤通りからいつも見えているような庁舎が出来れば、他に誇れる庁舎になると思う。一段、二段、三段と階段を上ってきていると思うので、これからまた皆さん、頑張りましょう。実施設計や現場の段階でも進捗の状況が分かるような形で、場合によっては現場の見学会も取り入れながら、みんなが自分の家を作っているような感覚で市役所が出来ていくように、設計者には努力をしていただきたいと思う。



内田文雄氏
(山口大学教)

感想カード

最後に、今日参加した感想や今後の進め方など、自由に感想カードにお書きいただきました



新庁舎に期待したい

- 市民協働センターの役割が大きいと思います。宇部市民が利用しやすい市庁舎にして下さい。誰でも気軽に参加できる、集まりやすい場所を提供して下さい。
- 今日もいろいろな意見が聞けて、大変有意義でした。また庁舎（市民活動スペース）の概要も、より具体化していてよかったと思います。課題も多いかと思いますが、よりよい庁舎ができることを期待します。そしてこのような機会があれば、また参加したいと思います。ありがとうございました。
- ワークショップに参加してきましたが、楽しみ感が増してきました。隣接自治会の者ですが、境界の防犯、防音、日照等でご配慮願いたい。
- 市民にとって使い易い（利便性）設計にして欲しい。
- とてもステキな外は出来ました。使うのは市民です。宇部市民全員が「1回でも市役所に行ったよ」とすべての市民が1度は（少なくとも）行ってみたくなる、長く使える建物!!にしたいですね。各校区の日とか365日、毎日とにかく何か活動を入れて、活生活。ステキな宇部市になりますように。
- 4回のワークショップ準備、その他でかわった方、ありがとうございました。市民が楽しく使えるような市庁舎になると思います。多世代、宇部の活性化につながる市民活動、産業活動に使えて、他の市民から「宇部はいいね!」と言われるようになるとうれしいです。
- 初めて参加させてもらい、しっかりプランが進んでいるんだと考えた。自分達若者がこれからソフト面に対してどんどん意見をもらいこんで、自分達が誇れる市役所ができればと思います。

だんだんと良い案になってきている

- 全体的にすっきりしてよかったと思います。前多目的ホールに市民協働センター機能が広がったのは良かったです。真締川沿いの樹木の整理、医大から河口まで視野に入れて、安心して休憩できる”いこいの広場”にしてほしい。ミズベリング研究会も考えているので、一緒に入れてほしい。
- 構想が大分すっきりしたものになって良かったと思います。水場のイメージ、川へのデッキ、彫刻再配置、多目的ホールの使い方もずいぶんよくなったと思います。屋根付きイベント広場もありがたいです。最終の議論で実際に人を集めるソフトの仕組みが費用対効果を含めて最大の難関であると感じました。
- 最初から今日の段階まできて、すごく良い計画になったと思います。十年後の宇部市を楽しみにしています！
- 一昨年の基本構想ワークショップ、今回の基本・実施設計ワークショップに参加させて頂きました。自分なりの意見も出したが、多くの方々の様々な意見も出て、姿もより具体化してきた。今後、更なる検討をして頂きたい。
- 基本設計の市民活動スペースのWSにおいて、様々な提案や意見が出て、これを上手くまとめると常盤通りに面して庁舎が大変面白く、シンボリックとなるのではと思っています。多目的スペース、カフェ、中庭との連携が目に見えて、分かりやすいと良いのかなって思います。

変更案に対する要望

- 多目的ホール2階にLabo（実験室）がほしい。ガラスのパーティションでスペースを自由にデザインできて、実験台を移動できるようにプラグで接続できるガス、給排水システムを作してほしい。
- 市民活動スペースを新設して、多くの人々を集めようとしているにもかかわらず、駐車スペースが少なすぎる。人を集めたいにもかかわらず、車では来るなと言うに等しい。極端に言えば、多目的広場は半分で充分。
- 市民活動スペースは良いと思うけど、室の配置は多少の問題があると思う。雰囲気作りをすれば人を多く集める事が出来る。内外共に良い環境を考えればOKと思う。吹き抜けで天井高をとるのも良いが、必要がない様に思う。ソフト面を良く検討するべきと思う。

ワークショップについて

- 今日、初めて参加しました。宇部に住み始めてまだ数ヶ月ですが、市民の方の意見がしっかり参考にされて、形になるのはとても嬉しいことだと思うので、設計の方々にはぜひ頑張してほしいと思いました。1つだけ思ったのは、建築の知識が浅い市民の方に対して、専門の用語が多いと感じました。もっと分かりやすくかみくだいて説明すると、もっと良い話し合いになるのかなと思いました。参加することができて良かったです。完成したら見に行けたらいいなと思います。
- 全体的な趣旨の理解が不十分のまま参加した。最初にもう少し趣旨説明が必要と思う。違った形の議論になったのは残念でした。
- 第1回から今日まで参加させていただき、ありがとうございます。ただ残念な事に、回を重ねるにつれて若い人達の参加が少なくなった様に思います。別の日に高校性、若い人などの男女を集めて何回か、意見を聞くのも一つの案だったんじゃないかと思っています。
- 回を重ねるごとに新庁舎のイメージが深まって参りました。市民の声をしっかりと取り上げて頂きたいと思っています。いろいろ有り難う御座いました。

運営の検討が必要

- 市民活動スペースの事を色々考えてきましたが、人集めを目的にしているのだったら、常に魅力的なスペースになる様、管理していくのが大変だと思います。その辺りを宜しくお願い致します。
- 常駐して運営してもらえる業者等のソフト面を行政と設計にて組み込み、その為のハード面（スペース及びライフライン）を多く取り込んだ方が良いでしょう。
- 市民向けのコミュニティスペースの利用は、可能な限り敷居を低くしなければ、せっかく作ったのに利用者が少ないといった事態になりかねない。飲食や商用利用もできるだけ門戸を拡げて欲しい。ハードとソフトの連携は必須だが、ソフト面では運営などについてある程度、公費で予算配分し、補助をつける必要がある。集客効果の見込める題材を持っている人が沢山居ながら、ボランティアや自腹を強いられているために持続活動できていない事例が目立つ。
- 多目的広場は、ボランティアをしていますから、お金を少しでも多く集めたいので無料にして欲しい。三階の緑地はアーモンドの木を植え、秋には収穫し、市民に配るなり又、売るなりは如何ですか。

